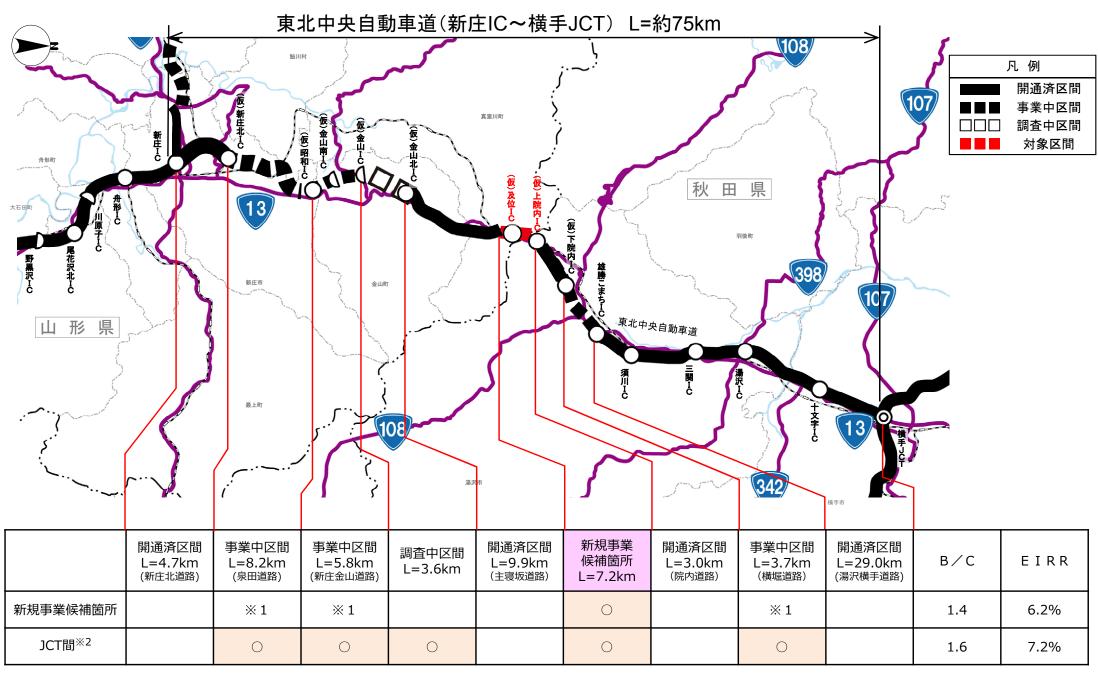
費用便益分析の対象区間

広域ネットワークでの費用便益分析 く一般国道13号 真室川雄勝道路>



〇印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象

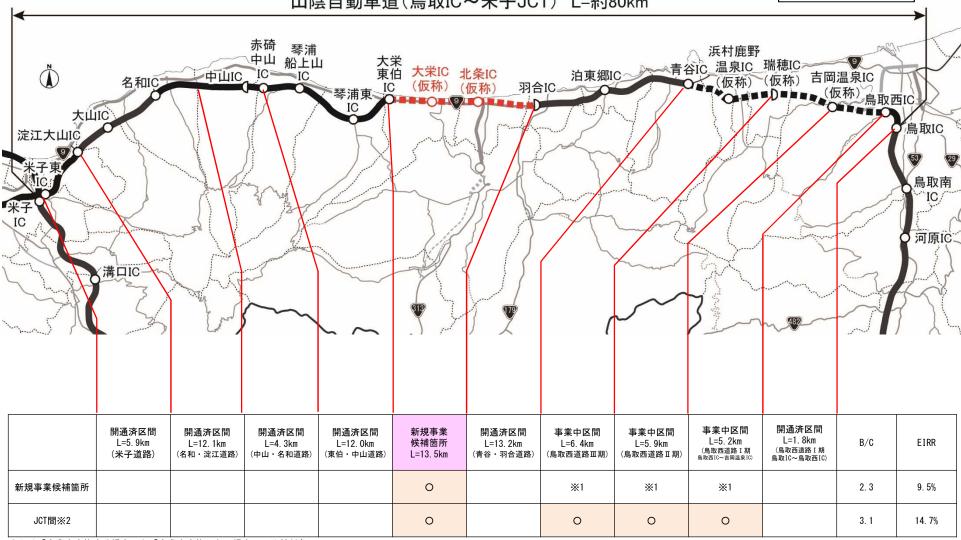
^{※1:}新規事業候補箇所のB/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む

^{※2:}基準年をH28として計算

広域ネットワークでの費用便益分析 く一般国道9号 北条道路>

凡 例 ■■■ 開通済区間 ■■■ 事業中区間 ■ 対象区間

山陰自動車道(鳥取IC~米子JCT) L=約80km

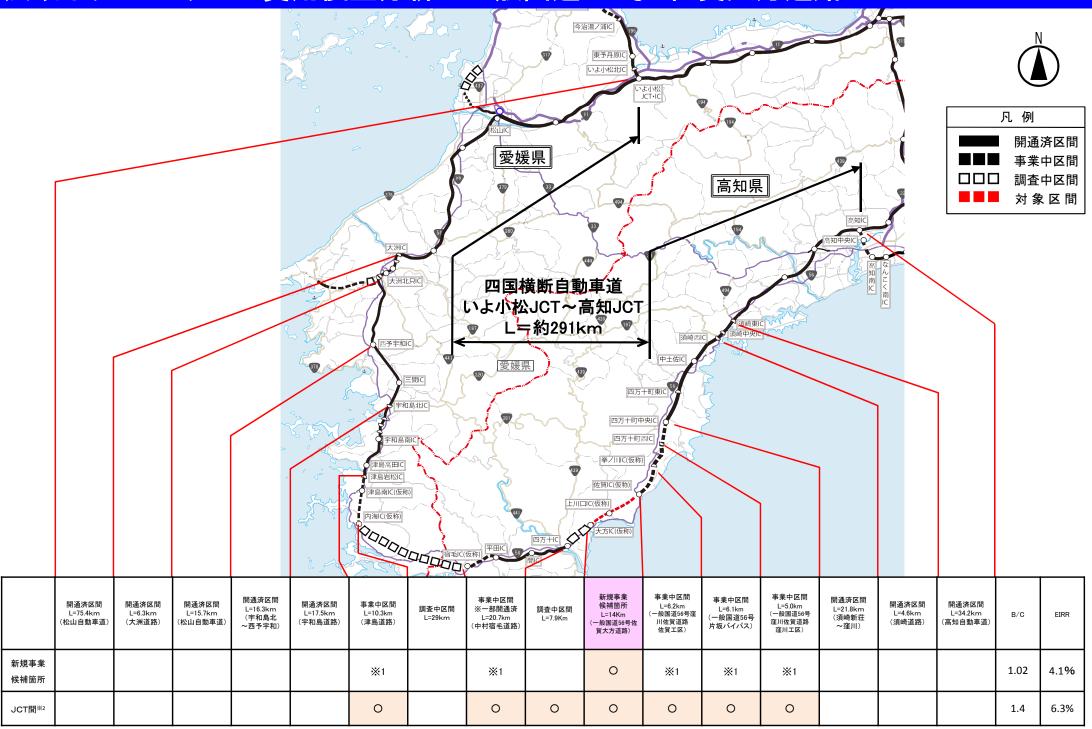


〇印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象

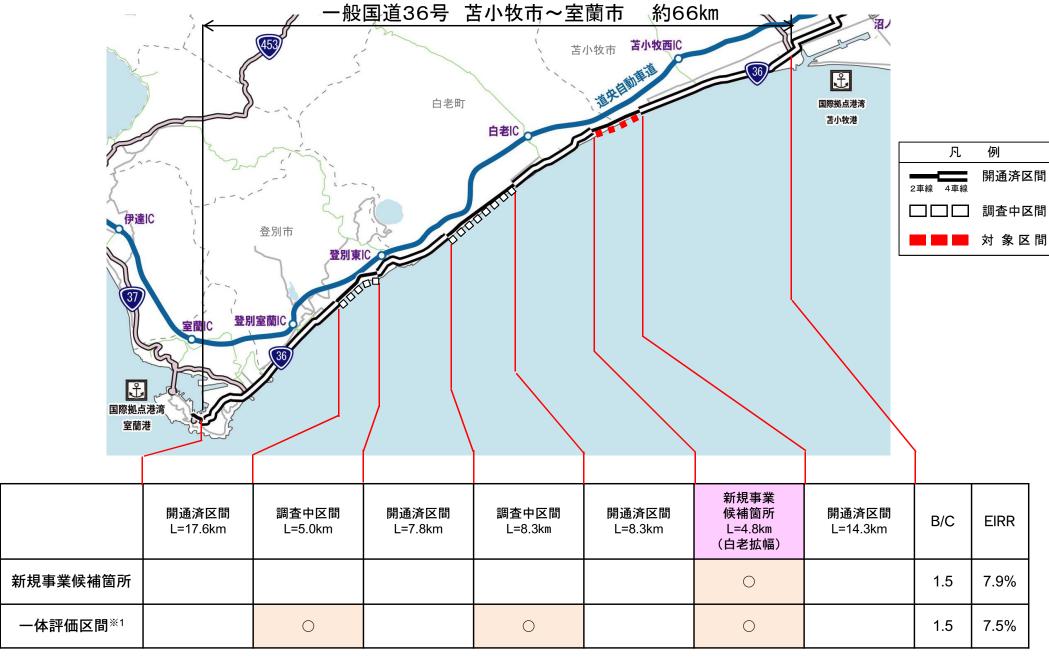
※1:新規事業候補箇所のB/C等の算定にあたり事業中区間は将来ネットワークに含む

※2: 基準年をH28として計算

広域ネットワークでの費用便益分析く一般国道56号 佐賀大方道路>



広域ネットワークでの費用便益分析 <一般国道36号 白老拡幅>



[○]印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象

※1:基準年をH28として計算

広域ネットワークでの費用便益分析 <一般国道20号 日野バイパス(延伸)Ⅱ期>



[○]印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象

^{※1:}新規事業候補箇所のB/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む ※2:基準年をH28として計算